

令和3年度

事業報告書

元気館障害者

デイサービスセンター

目 次

1. 寄附	1
2. 生活介護	2
2-1 利用者の状況	2
2-2 利用実績	2
3. 機能訓練	3
3-1 利用者の状況	3
3-2 利用実績	3
4. 地域活動支援センター	3
4-1 利用者の状況	4
4-2 利用実績	4
5. 放課後等デイサービス	4
5-1 利用者の状況	4
5-2 利用実績	5
6. 一般相談支援事業	5
6-1 基本相談支援	5
6-2 地域移行支援	6
6-3 地域定着支援	6
7. 特定相談支援事業	7
8. 居宅介護事業（移動支援）	7
8-1 利用者の状況	8
8-2 利用実績	8
9. 保健衛生	8
10. 行事	9
11. 給食	9
12. 災害防護訓練	10
13. 職員の配置状況	11
14. 職員研修	11
14-1 内部研修	11
14-2 外部研修	11
15. ボランティアの受け入れ	12
16. 視察・研修・慰問の受け入れ	12
17. 実習の受け入れ	12
18. 苦情相談	13
19. 事業計画等に対する評価	13

令和3年度 事業報告

令和3年度は、柏崎市の指定管理第4期目の1年目である。デイサービス事業は利用者一人一人のニーズに添い、「明るく楽しいデイサービス」を念頭に、サービス提供を継続した。

生活介護では、1日平均の利用人数は18.2人から17.8人と0.4人減で昨年度実績を維持した。平均障害支援区分は、4.6と変更がなかった。6名（令和4年3月31日現在）の利用者の医療的ケアのニーズへ対応（看護師配置）した。入浴と運動のニーズを中心に対応し、入浴においては、特殊浴槽を活用し最大限の受け入れを行った。行動障害の対応を求められる利用者のニーズに応えるため、強度行動障害支援者養成研修修了者を配置し重度障害者支援のため支援手順書に沿った支援を行った。

機能訓練では、1日平均利用者数が、1.1人から1.0人で昨年度実績を維持した。利用者ニーズへ対応できる支援体制の継続に努めた。

地域活動支援センターⅡ型事業では、1日の平均利用者数（3回/月の土曜日利用含む）は5.8人となっており、昨年の6.2人に比較して0.4人の減少となった。生活リズムを整えることを目的とした利用（送迎サービス有）及び利用者間の交流の機会の提供等へ対応した。土曜日は革細工・絵画・籐製品・ペーパークイリング・編み物の作品作りを行った。長岡丘陵公園への外出は新型コロナウイルスの感染予防のため見合わせたが、柏崎市の市展は短時間で鑑賞した。

放課後等デイサービス事業では1日の平均利用者数は昨年度の2.9人から3.2人となり0.3人増となった。長期休暇には1日の利用受け入れを行った。保育士、看護師を配置し利用者ニーズに対応できる体制を整えた。

年度を通してサービス提供を安全に継続するため、新型コロナウイルス感染防止対策についての情報収集や検討、実施に努めた。利用者、職員共に法人の行動マニュアルに沿って対応した。

一般相談支援事業では、基本相談支援事業の実人員が56人（昨年度より9人減）、相談件数は188件（昨年度より230件減）だった。地域移行支援の実人員が1人（昨年度と同数）、地域定着支援は契約者6名だった。フォンジェ地下のサテライト相談窓口みどころでは相談業務、法人各施設の作品展示、販売、求人業務を行った。

計画相談支援事業では、239人（昨年度より111名増）のサービス等利用計画を作成した。相談件数1777件（昨年度より331件増）となった。昨年度、法人入所施設の相談支援事業を引き継ぎ、契約者数が大幅に増えたことにより、計画作成、モニタリングの件数が大幅に増えた。相談支援専門員4名（専従3、兼務1）による相談支援体制を継続した。

居宅介護事業では居宅介護146人（62人減）、行動援護26人（3人増）、同行援護23人（13人増）、重度訪問介護8人（7人増）、移動支援32人（2人減）となっている。余暇支援の移動支援は感染状況を見ながらの支援となり昨年度並みの実績だった。

以下、令和3年度の事業を報告する。

1. 寄附

①寄附金
なし

②寄附物品
なし

2. 生活介護

1日平均の利用人数が、18.2人から17.8人と0.4人の減となった。平均障害支援区分は4.6で前年度と変わりなかった。看護師を配置し、6名（令和4年3月31日現在）の利用者の医療的ケアのニーズに対応した。入浴と運動のニーズを中心に支援し、入浴においては、特殊浴槽を活用し最大限の受け入れを行った。行動障害の対応を求められる利用者ニーズがあるため、引き続き強度行動障害支援者養成研修修了者を配置し、重度障害者支援のため支援手順書に沿った支援を行った。

2-1 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

①年齢別人数及び平均年齢

（単位：人）

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢（歳）
男性	2	11	11	1	25	41.7
女性		8	11	3	22	46.5
計	2	19	22	4	47	43.9

②障害支援区分別人数

（単位：人）

区分	1	2	3	4	5	6	計
男性		3	6	5	7	4	25
女性		2	1	1	6	12	22
計		5	7	6	13	16	47

③身体、知的、精神の各障害

（単位：人）

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	14	9	2		25
女性	8	13	1		22
計	22	22	3		47

2-2 利用実績

（1日定員18人）

（単位：人）

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率（%）	1日平均利用者数
4月	45	3		401	106.1	19.1
5月	46			341	105.2	18.9
6月	47			425	107.3	19.3
7月	46			375	104.2	18.8
8月	41			354	93.7	16.9
9月	43		1	341	94.7	17.1
10月	44	1	2	365	96.6	17.4
11月	44			357	99.2	17.9
12月	44			361	100.3	18.1
1月	44			318	88.3	15.9
2月	39			301	92.9	16.7
3月	41		1	379	95.7	17.2
年間合計		4	4	4,318	98.7	17.8

3. 機能訓練

1日平均利用者数が、1.1人から1.0人とわずかに減少した。利用者ニーズへ対応できる支援体制の継続に努めた。

3-1 利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性			2		2	43.0
女性		1		1	2	52.0
計		1	2	1	4	47.5

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性	2							2
女性	2							2
計	4							4

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	1		1		2
女性	2				2
計	3		1		4

3-2 利用実績

(定員3人)

(単位:人)

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率(%)	1日平均利用者数
4月	2			23	36.5	1.1
5月	2			21	38.9	1.2
6月	3	1	1	32	48.5	1.5
7月	2			21	35.0	1.1
8月	2			20	31.7	1.0
9月	2			18	30.0	0.9
10月	2			22	34.9	1.0
11月	2			18	30.0	0.9
12月	2			20	33.3	1.0
1月	2			19	31.7	1.0
2月	2			15	27.8	0.8
3月	3	1		18	27.3	0.8
年間合計		2	1	247	33.8	1.0

4. 地域活動支援センター

1日の平均利用者数(3回/月の土曜日利用含む)は5.8人となっており、昨年の6.2人に比較して0.4人の減少となった。土曜の利用人数が感染症対策のため少ない回があったことが影響した。生活リズムを整えることを目的とした利用(送迎サービス有)及び利用者間の交流の機会の提供等へ対応した。土曜日は革細工・絵画・籐製品・ペーパークイリング・編み物の作品作りを行った。土曜日の利用者向けに例年、長岡の丘陵公園等の外出支援を実施してきたが、新型コロナウイルスの予防対策のため前年度に続き見合わせた。

4-1 利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性		1	10		11	56.5
女性		2	15	3	20	53.6
計		3	25	3	31	54.6

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性	2	3	3	2			1	11
女性	10	1	5	2	1		1	20
計	12	4	8	4	1		2	31

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	4	3	4		11
女性	8	5	7		20
計	12	8	11		31

4-2 利用実績

(定員10人)

(単位:人)

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率(%)	1日平均利用者数
4月	27			134	55.8	5.6
5月	25			114	54.3	5.4
6月	24		1	141	56.4	5.6
7月	26	2		136	61.8	6.2
8月	25			141	61.3	6.1
9月	26			139	60.4	6.0
10月	25			147	61.3	6.1
11月	26			139	60.4	6.0
12月	26			124	53.9	5.4
1月	26		1	134	58.3	5.8
2月	25			117	55.7	5.6
3月	22			127	50.8	5.1
年間合計		2	2	1,593	57.5	5.8

5. 放課後等デイサービス

1日の平均利用人数は3.2人となっており、昨年の2.9人から0.3人増加した。入浴支援を必要としないニーズが増えた。

5-1 利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	7歳以上10歳未満	10歳以上13歳未満	13歳以上16歳未満	16歳以上19歳未満	合計	平均年齢(歳)
男性	2	2	1	3	8	12.8
女性	1	1		2	4	12.8
計	3	3	1	5	12	12.8

② 身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	4	4			8
女性	3	1			4
計	7	5			12

*身体障害に重症心身障害児を含む。

*登録12名中 入浴希望者5名

5-2 利用実績

(定員5人)

(単位:人)

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率 (%)	1日平均利用者数
4月	9	2		68	64.8	3.2
5月	9			67	74.4	3.7
6月	9			74	67.3	3.4
7月	10			69	69.0	3.5
8月	9			53	50.5	2.5
9月	9			63	63.0	3.2
10月	9			73	69.5	3.5
11月	9			67	67.0	3.4
12月	9			61	61.0	3.1
1月	9			59	59.0	3.0
2月	9			56	62.2	3.1
3月	10	1	1	70	63.6	3.2
年間合計		3	1	780	64.2	3.2

6. 一般相談支援事業

相談支援専門員4名(専従3、兼務1)を配置し、柏崎市と刈羽村からの委託を受けて相談事業を実施した。基本相談支援事業の実人員が56人(昨年度より9人減)、地域移行支援の実人員が1人(昨年度と同数)、地域定着支援の契約者6名中(昨年度と同数)、3名に対応した。基本相談188件(昨年度より230件減)となっている。第7期柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会の部会(サービス調整連絡会議、精神障害部会、子ども部会、相談支援連絡会)に相談支援専門員を派遣した。中越圏域相談支援事業連絡調整会議、中越圏域自立支援連絡調整会議地域移行支援部会に参加し関係機関との連携に努めた。保健所主催の関病院の地域移行ケース検討会議は感染症対策のためオンライン開催となった。フォンジェ地下のサテライト相談窓口みこころで相談業務、法人各施設の作品展、販売、求人業務を行った。

6-1 基本相談支援

①基本相談支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	44	15	2	58	55	15		13
障害児	12			19	1	4		11
計	56	15	2	77	56	19		24

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	20	20	6	42	2	10	87	1	188

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	113	12	23	5		7	1

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	5	6			16	188

6-2 地域移行支援

①地域移行支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	1			35		35		
障害児								
計	1			35		35		

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	9		3			1	21	1	35

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	3	3				6	

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	8				15	35

6-3 地域定着支援

①地域定着支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	3	4		20	8	16		
障害児								
計	3	4		20	8	16		

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	1		2	21					24

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	2		3	8		4	

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	3				4	24

7. 特定相談支援事業

258人(昨年度より8名減)の計画相談の支援を行った。相談件数1777件(昨年度より331件増)となった。法人入所施設利用者や新規の計画相談希望者に対応するため相談員4名(専従3名、兼務1名)の体制を維持した。

強度行動障害支援者養成研修(実践研修)、医療的ケア児等コーディネーター養成研修、「精神障害者の障害特性及びこれに応じた支援技法に関する研修」受講者が継続して相談業務を行った。

①計画相談支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	232	406	26	973	324	185	31	23
障害児	26	35	14	104		75		
計	258	441	40	1077	324	260	31	4

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	63	47	28	267	13	484	872	3	1777

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	1085	106	186	50	23	93	56

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	56	22	2	15	83	1777

8. 居宅介護(移動支援)事業

居宅介護146人(62人減)、行動援護26人(3人増)、同行援護23人(13人増)、重度訪問介護8人(7人増)、移動支援32人(2人減)となっている。新型コロナウイルスの濃厚接触者宅への訪問もあり、感染予防に努めて支援実施した。重度訪問介護は1日8時間前後の訪問支援が継続的にあった。

各事業のサービス提供にあたり、サービス提供責任者を中心にサービス提供内容の引継ぎ体制を整備(手順を明確にした書面を活用)し、各訪問介護員の研修を計画に沿って実施した。

8-1 利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢
男性	2	7	8	1	18	41.6
女性	1	2	8	1	12	46.9
計	3	9	16	2	30	43.7

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性	3		3	2		5	5	18
女性	2		5	2		1	2	12
計	5		8	4		6	7	30

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	発達障害	計
男性	9	6	3			18
女性	7	2	3			12
計	14	5	6			30

8-2 利用実績

(単位:人)

月	居宅介護	行動援護	同行援護	重度訪問介護	移動支援	備考
4月	14		1		4	
5月	14	2	2		4	
6月	15	3	2		5	
7月	14	3	1	1	3	
8月	12	2	3	1	1	
9月	11	2	3	1	2	
10月	11	3	1	1	3	
11月	12	3	3	1	3	
12月	13	3	2	1	5	
1月	11	3	1	1	2	
2月	7	1	2			
3月	12	1	2	1	2	
計	146	26	23	8	32	

9. 保健衛生

新型コロナウイルスの感染症の流行に伴い、利用者（職員）等の検温等の利用（勤務）前の体調把握、事業所内の環境改善、定時の換気等、感染予防に努めた。職員はマスクの使用に加え、入浴や食事介助の場面に応じてフェイスガード、ゴーグル、使い捨てエプロンを使用した。また来客者の記録や職員、利用者（家族）の県外の往来の対応について法人の感染予防基準に従って対応した。

月	内 容
年間を通して	新型コロナウイルス感染症対策
6月～9月	熱中症の予防
10月	インフルエンザ予防接種実施の注意喚起、感染症マニュアル等見直し
11月	ノロウイルス、インフルエンザ等研修（実施無し）

10. 行事

新型コロナウイルスの感染予防を優先し外出活動は中止とした。音楽ウイーク、チャレンジウイーク、ミニえんま市はボランティアの依頼はせず、職員のみでの支援で提供した。運動会、クリスマス会についても感染予防に努めた上で実施し、楽しんでいただけた。

月	日	行 事
5月	8日(土)	長岡クラフトフェア見学中止
5月	10(月)～14日(金)	音楽ウイーク
6月	7日(月)～11日(金)	ミニえんま市
10月	4日(月)～8日(金)	運動会
10月	9日(土)	国営越後丘陵公園見学中止
11月	8日(月)～12日(金)	チャレンジウイーク
12月	13日(月)～17日(金)	クリスマス会
12月	18日(土)	クリスマス会
2月	1月31日(月)～2月4日(金)	節分

11. 給食

給食会議を活用して、災害用の水と食品の備蓄品等の確認、行事食について協議した。医師の指示がある7名へ療養食を提供した。アレルギー10名、禁止食品11名、ミキサー食4名へ対応した。

検食簿の「色彩」「盛り付け」の評価について、「普通」に加えて「良い」の評価があった。食事内容のわかりやすい説明に努め、ブログで写真を掲載した。

① 給与栄養量

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂 質 (g)	炭水化物 (g)		カルシウム (mg)
					食物繊維(g)	
数 値	608	23.3	16.5	96.3	5.8	120
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	レチノール活性当量 (μg)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
数 値	2.7	237.0	0.34	0.28	35	3.0

② 食品構成

(単位；g)

食品	穀類		いも及び でんぷん類	砂糖及び 甘味類	豆類	種実類	野菜類	
	米類	小麦粉(そ の他)					緑黄色野菜	その他野菜
数値	83.2	6.7	19.06	9.6	12.9	0.25	57.58	79.46
食品	果実類	きのこ類	藻類	魚介類	肉類	卵類	乳類	油脂類
数値	6.91	8.2	0.68	26.16	32.4	7.11	6.25	3.01
食品	菓子類	嗜好飲料 類	調味料及び 香辛料類	調理加工 食品類	※日本食品標準成分表2015年版(七訂)搭載 に準ずる。			
数値	—	1.1	188.5	6.08				

③ 食事時間と形態

食 事	時 間	形 態
昼 食	12:00	行事食の提供有
おやつ	14:30	手作りおやつ、お菓子、飲み物

④ 行事食

月	日	行事	献立 (おやつ)
6	7(月)	えんま市	コーンご飯、白菜の味噌汁、お好み焼き、フライドポテト、ほうれん草サラダ、リンゴゼリー
	8(火)		ひじきおこわ、すまし汁、焼きそば、たこ焼き、南瓜と枝豆のサラダプリン
	9(水)		梅しらす御飯、豆腐の味噌汁、お好み焼き、コーンのかき揚げ、グリーンサラダ、杏仁豆腐
	10(木)		鮭の和風ピラフ、野菜スープ、お好み焼き、鶏チリ、中華サラダ、マスカットゼリー
	11(金)		炒飯、中華スープ、焼きそば、フランクフルト、大根サラダ、ピーチゼリー
12	13(月)	クリスマス	根菜の和風ピラフ、コンソメスープ、ミックスフライ、ほうれん草のごま和え、チョコケーキ
	14(火)		ちらし寿司、すまし汁、照焼チキン、南瓜サラダ、マロンケーキ
	15(水)		鮭ときのごバター御飯、コーンスープ、ミートローフ、白菜の甘酢和え スイスロールケーキ
	16(木)		チキンライス、青菜のかき玉スープ、鮭のムニエル トマトソース、もやしのドレッシング和え、ロールケーキ
	17(金)		えびピラフ、ポトフ風スープ、鶏肉のピザ焼き、大根の柚子ポン酢和えダブルロール

12. 災害防護訓練

5月に利用者参加による日中の避難訓練をマニュアルの再確認を中心に実施した。3月は元気館の消火訓練に職員2名が参加した。日常的に、訪問者情報を共有できるよう、朝と夕方のミーティングを活用し、職員間の情報共有に努めた。

月	訓練項目
4	火災想定・消火訓練 (避難場所車庫、職員による訓練)・パート職員のマニュアル確認 (個々)
5	地震及び火災想定・消火訓練 (利用者参加訓練、日中) 利用者とマニュアル確認
6	地震及び火災想定・消火訓練、搬送訓練 (避難場所車庫、職員による訓練)
7	地震発生時の入浴対応を検討
8	火災想定・消火訓練 (避難場所車庫、職員による訓練)
9	地震及び火災想定・消火訓練 (利用者参加訓練、日中)・パート職員のマニュアル確認 (個々)
10	風水害想定訓練 (送迎時対応)
11	火災想定・消火訓練 (避難場所玄関、利用者参加訓練、日中)
12	原子力災害マニュアル見直し
1	高所避難 (風水害、津波等) 訓練 (車いすを持って2階へ避難想定、職員による訓練)
2	不審者侵入防止訓練 (職員による訓練)・パート職員のマニュアル確認 (個々)
3	火災想定・消火訓練 (避難場所玄関)

13. 職員の配置状況 (令和4年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
		専従	兼務	専従	兼務	
センター長	1		1			社会福祉士
サービス管理責任者	1		1			介護福祉士
児童発達管理責任者	1		1			介護福祉士
サービス提供責任者	1		1			介護福祉士
医 師 (嘱 託)	1				1	内科
看 護 師	4		3		1	正看護師 (2) 准看護師 (2)
支 援 員	8	2	3	1	2	介護福祉士 (1) 保育士 (1)
機能訓練指導員	1		1			正看護師
保 育 士	1				1	保育士
相談支援専門員	4	3	1			社会福祉士 (1) 介護福祉士 (2)
訪問介護員	6		3	1	2	介護福祉士 (2) 看護師 (1)
運 転 員	2			2		普通2種免許 (1) 大型免許 (1)
事 務 員	1		1			

- ・令和3年9月17日から、臨時支援員1名が育児休暇から復帰した。
- ・令和4年2月1日から、臨時支援員 (相談員) 1名を雇用した。
- ・令和4年2月7日から、相談支援専門員1名が産後休暇、育児休暇を取得した。

14. 職員研修

新型コロナウイルスの感染予防のためオンライン研修が多かった。オンライン研修に9名、施設外研修に延べ10名が参加した。

14-1 内部研修

① 法人 (交換) 研修

前年度に続き、新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

② 施設 (集合) 研修

介護技術研修や法人職員による行動障害の支援研修を予定していたが新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

③ 施設 (研修報告・意見交換) 研修

年 月	内 容
9月	「職員自己評価」「虐待防止チェックシート」
10月	「強度行動障害支援者養成研修」「利用者アンケート」
11月	「強度行動障害支援者養成研修」
12月	「気づく力研修」「伝える力研修」
2月	「虐待防止チェックシート」

14-2 外部研修

① 外部研修

年 月 日	内 容	研修実施者	参加者
6月24～25日	相談支援従事者初任者研修 講義編	新潟県	1
6月28日	応急法	柏崎刈羽ミニコロニー	1
7月1～2日	相談支援従事者初任者研修 演習編	新潟県	1

7月2日	安全運転講習会	柏崎地区交通安全協会	1
8月3日	摂食嚥下障害の食支援（オンライン）	国立病院機構 新潟病院	2
7月13～14日	相談支援従事者現任研修	新潟県	1
8月5日 9月2～3日	相談支援従事者初任者研修 演習編	新潟県	1
8月21日	重症心身障害児者の理学療法を知る （オンライン）	はまぐみ療育セミナー	2
8月24日	相談支援従事者現任研修	新潟県	1
9月7日	福祉・介護職員リーダーシップ研修 （オンライン）	新潟県社協	1
9月27～28日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	新潟県	1
10月5日	相談支援従事者現任研修	新潟県	1
10月11日	気づく力研修（オンライン）	新潟県社協	1
10月20～21日	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	新潟県	1
10月27日	伝える力研修（オンライン）	新潟県社協	1
11月26日	対人援助のためのファシリテーション （オンライン）	新潟県社協	1
12月6日	相談面接技術研修（オンライン）	新潟県社協	1
計	17回		19名

15. ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルスの感染予防対策のためボランティアの受け入れは休止した。運動会、えんま市、クリスマス会の行事は職員のみで感染症予防に努めながら実施した。

16. 視察・研修・慰問の受け入れ

新型コロナウイルスのクラスターが発生した松波の里へ職員2名を3月1日から3月8日まで応援派遣したことに伴い、新潟県知的障害者福祉協会から3名の登録職員の派遣を受けた。

17. 実習の受け入れ

17-1

保育実習生の施設実習を2名、相談援助実習（社会福祉士）を1名受け入れた。

期 間	日数	学校・学年	種類	人数
8月16日～27日	10日	新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科2年	保育実習I（施設実習）	1
8月30日～ 9月10日	10日	新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科2年	保育実習I（施設実習）	1
9月13日～ 10月18日	24日	国際こども・福祉カレッジ 社会福祉学科	相談援助実習	1
計		3回		3名

17-2

はまなす特別支援学校の産業現場等における実習を2名受け入れた。

期 間	日数	学校・学年	種類	人数
10月4日～8日	5日	県立はまなす特別支援学校高等部3年	産業現場等の実習	1
10月11～13日	3日	県立はまなす特別支援学校高等部3年	産業現場等の実習	1
計		2回		2名

18. 苦情相談

令和3年度に受け付けた苦情はなかった。

19. 事業計画等に対する評価

(1) 放課後等デイサービスの状況

令和2年4月から地域活動支援センターⅡ型で受け入れていた入浴支援の児童を移行する形で放課後等デイサービス事業を開始した。2年目の令和3年度の新規利用者は3名で、いずれも入浴支援の希望はなく療育支援の希望であった。一方で既に入浴のニーズで利用していた児童からは利用回数増の希望があり、機械浴を持つ事業所としての役割を担っている。新規の利用希望は年間を通じて問い合わせがありサービス提供の周知が進んだと感じる。必要な職員配置の維持に努め、地域のニーズに応じていく。

(2) 居宅介護事業について

居宅介護事業は介護保険の移行やコロナウイルスの感染状況によって減少することはあるが、新規利用希望の問い合わせは継続的にある。吸引が必要な利用者の余暇支援のため看護師を配置し、行動援護の支援提供のために強度行動障害の研修へ行った職員を配置できるよう、通所事業との職員の兼務を継続した。当事業所の居宅サービスを指定して依頼されることもあり、地域の相談支援事業所の信頼を得ている。今後も地域の障がい者の在宅生活を支える資源として体制を維持していく。

(3) デイサービスの提供体制、支援者の資質向上

医療的ケアが必要な利用者のニーズに応えられるように看護師4名（兼務含む）の体制を維持した。強度行動障害支援者養成研修に職員を派遣し、安定的にサービスが提供できるように努めた。また、柏崎市内の通所事業所で入浴サービスを提供しているのは当事業所を含め2事業所である。特に機械浴のニーズは高く、1日10人を超える日もある。重度の身体障がいのある方のための入浴支援が提供できる事業所として評価を得ていると考える。さらに職員の介護技術のスキルアップを図り、安全な入浴支援の提供と職員自身の介護負担の軽減を図っていく。